

氏名	小川孔美	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	・高齢者福祉 ・高齢者虐待防止 ・専門職連携教育（IPE）&専門職連携実践（IPW）				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1999年日本女子大学社会福祉学科、2001年日本女子大学大学院 人間社会研究科 社会福祉学専攻博士前期課程、2016年首都大学東京大学院 人文科学研究科 社会行動学専攻 社会福祉学 後期博士課程満期単位取得退学				
経歴	1989年 国立国際医療研究センター国府台病院看護部、1992年 国立がん研究センター東病院看護部 2003年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科助手、2011年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科講師 2018年 社会福祉子ども学科 准教授				
所属学会（役職）	日本社会福祉士学会、日本高齢者虐待防止学会、日本保健医療福祉連携教育学会（IPW委員会）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（理事）				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	住民主体生活支援型地区サロンにおける多職種連携の現状と課題	単著	なし		保健医療福祉連携、15（1）、49	小川孔美
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	住民主体生活支援型地区サロンにおける多職種連携の現状と課題	単独	日本保健医療福祉連携教育学会		○小川孔美	2021.11
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	地域における居場所づくり～居場所のありかたを問う～	単独	一般財団法人 医療・福祉・環境 経営支援機構 全国協議会		○小川孔美	2021.12
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	埼玉県立大学「教育・研究・地域連携の一体的推進事業」	の質の向上をめざす支援の検討－学生と地域住民がともに学ぶスマホ使い方教室の取組から－		研究代表	2022年1月～ 2023年2月末（1年2カ月）	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	高齢者福祉論	○	15	高齢者福祉における最近の動向について、厚生労働省の各種審議会、介護保険制度の最新情報を取り入れた講義等展開		
2	IPW論		15	「尊重」をテーマに、自分が目指す職種及び自分以外の関係職種の理解、およびチーム活動の基本的なスキルの獲得を目指します。これらに関する考え方・理論を講義にて教授するとともに、異なる学科の学生による混合グループでチーム活動を行い、体験を通じて学ぶ講義を展開		
3	IPW論（専門職連携実践論）		15	Interprofessional Work；IPW（専門職連携実践）について、基盤となる考え方や理論、これまでの発展の歴史、教育の方法、様々な分野における実際について学習する		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	社会福祉演習	○	15	1年生を対象としているため、4年間を通して社会福祉士及び精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養していく際に必要な自主的かつ自律的に学んでいく姿勢、自らテーマを設定し、情報収集して自分の主張を支える根拠を見だし議論するための演習等を行った。		

2	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った。また、地域共生の動向をとらえ、市の地区センターの協力を得て、学生をフィールドワークを取り入れている
3	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った。また、地域共生の動向をとらえ、市の地区センターの協力を得て、学生をフィールドワークを取り入れている
4	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った。また、地域共生の動向をとらえ、市の地区センターの協力を得て、学生をフィールドワークを取り入れている
5	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った。また、地域共生の動向をとらえ、市の地区センターの協力を得て、学生がフィールドワークに伺い学ぶ機会を取り入れている
6	ソーシャルワーク演習Ⅳ		15	社会福祉におけるコミュニティワークの概念が定着できるよう、コミュニティへのアプローチに関する提案（支援プログラム）の必要性等について、フィールドリサーチを取り入れ、社会各資源との調整と助言に力を入れた。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ	○	学内実習／学外実習 2022年1月～3月	ソーシャルワーク現場実習の体験により、ソーシャルワーカーを目指す者として、必要な専門知識・技術、関連知識について理解を深めるとともに、求められる資質や能力を高められるよう指導した。
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○	15	実習目標・計画の立案や実習記録の演習など、自己学習やグループワーク、実習施設における事前オリエンテーションなどを通じて、実習への意欲を高め、ソーシャルワーク実習を展開するにあたっての姿勢や態度、能力を滋養できるよう指導した。
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	○	15	SW実習Ⅰの体験をさらに深めるための助言及び報告書作成について個人の持つ思いを大切に指導した。
4	IPW実習		2021.4～2021.10	対象施設のFTと綿密に連絡をとりながら学生が学びやすい環境を確保し、FTの原則にもとづき指導した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業課題研究指導	2021年4月～11月	主指導	2名 副指導 4名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	サークル活動顧問3サークル【学生ボランティア団体MAGO、子育て食堂たんぼぼ、卓球 S-MASH、】	2021.4～2022.3	○ZOOMを使用し、毎月2回以上の定例会の実施。そのうち1回は、社会福祉協議会の職員、地域支え合い推進員の住民に参加していただくなど、地域との連携が継続的にはかれるよう指導する。 ○利用者様のお誕生日にむけたバースデーカード等の送付。 ○ふらっとおおぶくろ等、地域における居場所に出張し、交流会の開催。 ○越谷市社会福祉協議会との遠隔による交流検討 コロナ禍でも行える、このような、新しい試み、工夫について、多く議論し実施した。 ○学生ボランティア団体MAGO 2021年度 学生表彰受賞
2	IPW総合課程（大学院）	2021.9～2021.12	IPWに必要とされるファシリテーションスキル

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	春日部市 ふれあい大学院	春日部市	高齢者福祉 今を丁寧に生きるために できること すべきこと	6月

2	埼玉県立大学 特定講座	埼玉県立大学	高齢者虐待を未然に防ぐためにー対象：株式会社ユニマツ リタイアメント・コミュニティ 主にケアマネジャー	8月
3	IPW研修会	越谷市医療と介護の連 携窓口	あなたと考えるファシリテーション	8月
4	草加市在宅医療・介護連携推進事業研修 会	草加市	ともに考える多職種協働ー多職種連携ではぐくむケアのた めに	9月
5	八潮市在宅医療・介護連携推進事業研修 会	八潮市	ともに考える多職種協働ー目指す姿になるために～	12月
6	蓮田市高齢者見守り支援ネットワーク会 議	蓮田市	コロナ禍での高齢者の見守りについて ～外出自粛による孤 立の防止に向けて～	10月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	一般社団法人 地域ケア総合評価機構		理事	2011～現在
2	越谷市医師会事務局医療と介護連携世話人会		世話人委員	2015～現在
3	NPO法人地域でともに生きるナノ		理事	2018～現在
4	蓮田市 地域包括ケア推進代表者会議		顧問	2018年4月～現在
5	八潮市地域包括支援センター運営協議会委員		運営協議会委員	2019年7月～現在 (2022年6月30日 までの予定)
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員		2021年4月～2022 年3月
2	全学的委員会及びセンター業務等	地域専門職連携推進部会		2021年4月～2022 年3月
3	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事		2021年4月～2022 年3月
4	全学的委員会及びセンター業務等	SPU学会学術集会運営委員長		2021年4月～2022 年3月
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			